

銀漢亭日録

伊藤伊那男

vol.3(2011.1.17~2.10)

- 1月17日(月) ▼本日、銀漢俳句会ホールページ開設。三代川次郎・金子つとむさん有難う!
- 1月18日(火) ▼風邪気味。疲れ出たか。酒、一滴も飲まず。
- 1月19日(水) ▼体調不調、酒飲まず。10時閉店。
- 1月20日(木) ▼「銀漢句会」。出句者四十三名。内十九名が欠席投句。まだ仕事の現役が多いのでやむを得ぬところながら、対策必要か。風邪で声嗄れ嗄れ。
- 1月21日(金) ▼風邪抜けず。午前中のろのろ。発行所は八名が二月号発送。表紙は赤。
- 1月22日(土) ▼家族で青山・梅窓院へ。妻の墓参。昨日が命日。もう五年。あと日黒「香港園」にて会食。
- 1月23日(日) ▼十一時、京王プラザホテル。扇の間に松川洋醉氏第二句集『家路』出版記念会。百七十人の大パティイー。あと新宿センタービルの「ダイニングアウトリビング」にて二次会。区役所通りの「カラオケスタジオ 向日葵」で三次会。
- 1月24日(月) ▼一日酔いに加えて風邪も膠着状態。店で話を聞くと昨夜、何と、小生ももう一軒梯子したというのだが! 全く記憶欠落。そういうえば、余興で使った猫の耳をつけたまま寝ていた。猛反省。「湯島句会」。
- 1月25日(火) ▼本日、銀漢俳句会ホールページ開設。三代川次郎・金子つとむさん有難う!
- 1月26日(水) ▼春耕の「神保町句会」終って十三人。あと、展示会馬、小石さん、小島健さん来店。武田編集長、本日中国事情についての講演のあと寄つてくれる。
- 1月27日(木) ▼高校先輩北澤さん来店。伊那北関東地区同窓会報に俳句寄稿依頼あり。
- 1月28日(金) ▼発行所では「金星句会」。店では平さん他勉強会。オリックス時代の友人三名。幼友達の宮沢常泰兄弟。堀江美州さんとNHK解説委員の荒木さんなど来店。盛況。「俳句」二月号の小生の記事が良かつた、と訪ねてきた赤羽良剛さん。購読会員に。
- 1月29日(土) ▼掃除と仕込みで店。午後、発行所でいづみさんからパソコン教わる。「雲の峰」からエッセイ十二回依頼あり。朝妻さんが、小生がパソコンに親しむようにとパソコンで原稿送るのが条件。ただし、教わりながら居眠り。鼾をかいていたと。ともかく一回目なんとか送付。題は「そして京都」。
- 1月30日(日) ▼「春耕」同人集の校正。「春耕」新年大会の選句。角川通信添削教室五人分など。夕方、長女・桃子一家が引っ越し前の「方違え」で泊まりに来る。富士見ヶ丘駅前の「ヴィノテーク」にて食事。
- 1月31日(月) ▼一月生まれの俳人の句会、十三名。発行所では四月号の編集会議。風邪ほぼ峰を越えた感じだが、体調は不十分にて酒一滴も飲まず。いや飲めず。
- 2月2日(水) ▼発行所にて、てる代さんが「如月句会」を始める。伊那北高校同期で「高遠句会」の小池百人君上京。北原泰明、松崎道遊氏集まる。閉店後皆で餃子屋。
- 2月3日(木) ▼「運河」へ同人評送る。天野小石さん今日より木曜日正式アルバイト。早速、サボーターより、背丈ほどもある「祝入店」の花到来。角川の河合さん、宇井十間氏と来店。ほか、阪西敦子、洋醉氏……などなど。
- 2月4日(金) ▼午前中、四月号の選句。オリックス時代の部下二人来店。御菴鷹山で同僚二名日航機で遭難した頃の思い出話など。
- 2月5日(土) ▼「銀漢」小田原吟行会。十時半、小田原駅集合。三十四名。「萩」の權守勝さん参加。外部から阪西敦子、天野小石さんが参加。「ういろう」「ちん

里う本店」などを通り、小田原文学館へ。城へ戻り自由時間。昼食は有志でそば屋に上がり、つい本格的な酒盛り。小田原市民会館にて四句出し句会。箱根の山は春霞の中。終つて「海鮮居酒屋さんせん」にて親睦会。あともう一軒。二十時のロマンスカーに乗る。車中で酒盛り。

2月6日(日) ▼「長月句会」が「春耕同人句会」と改称。西荻会館。あと、春耕賞選考会。終つて荻窪にて浅酌。

2月7日(月) ▼企画部打合せ。編集部最終校正へ。二十三時前に閉めて餃子屋。四月号の選句終了。

2月8日(火) ▼慶大茶道会の先輩四名来店。「火の会」十名。湯島句会報できあがり五名。水内慶太氏。閉店後、道遊氏ほかと焼肉屋。雪となる。

2月9日(水) ▼高遠の黒河内文江さんより、蓼科山聖光寺の除災祈禱の札、桜、酒など今年もいただく。菅原庄山子さんより山形の酒到来。昼「梶の葉句会」盛況。二十二時半閉店。志峰、いづみ、展枝さんと餃子屋。

2月10日(木) ▼編集部最終校正。「俳壇」パートナーのあと広渡敬雄、鈴木鷹夫、節子夫妻、今井聖氏の二門、平さんなど来店。うさぎ、玲奈、近恵、有史さんなども来て最後はダンスパートナーで騒ぎ。